

平成30年度
会津坂下町住民満足度調査
結果報告書

平成30年9月
会津坂下町 政策財務課

目次

1. 住民満足度調査の概要	2
2. 設問の構成	3
3. アンケート調査結果	4
問1 回答者の属性について	4
問2 日常生活圏について	5
問3 町が取り組んでいる項目の重要度・満足度について	6
問4 町の暮らしの中で感じていることについて	11
問5～9 今後のまちづくりで特に力を入れて取り組むべきことについて	13
問10 今後の町の将来像としてふさわしいものについて	23
問11 暮らしの現状と考え方について	25
問12 町の将来について(自由記述)	27
4. 第六次会津坂下町振興計画策定に向けて	28

1. 住民満足度調査の概要

○調査の目的

第五次会津坂下町振興計画では、「みんなで地域をつくる」を基本理念としたまちづくりを進め、地域コミュニティの再生を目指した各地区地域づくり協議会による地域づくり活動など、新たな取り組みを進めています。

第五次会津坂下町振興計画の目標年度が2019年度であることを踏まえ、現在の町の取り組みについて、取り組みごとの重要度と満足度など、住民の皆さんの考えを広く把握し、今後のまちづくりや地域づくり、第六次会津坂下町振興計画の策定に反映させるため、「住民満足度調査」(まちづくりアンケート)を実施します。

○調査対象

平成 30 年 4 月 2 日時点で満 15 歳以上の住民基本台帳に記載された町民

○抽出方法

地区別、年代別、性別に偏りが無いよう、無作為抽出した 1,300 名

○調査期間

平成 30 年 8 月 9 日(木)～平成 30 年 8 月 24 日(金)

○調査方法

郵送による調査票の発送・回収

○標本数

標本誤差 5%・信頼水準 95%とし、375 件

○回答件数

387 件(回答率 29.76%)

短期間のアンケートであり、お盆休暇時期に重なってしまったにも関わらず、約3割の皆さんにご回答いただくことができました。ご協力ありがとうございました。

2. 設問の構成

今回の調査は、住民の皆さんの生活の現状や町の将来像などについて調査をするため、全11問の質問により構成されています。

質問の最後に、町の将来についての夢やアイデアについて広くご意見をいただけるよう、自由記述欄を設けました。

調査結果は、質問の内容により、表やグラフ、ランキング形式にて表示しています。(次頁以降参照)

設問内容について

〔問1〕 回答者の属性について

〔問2〕 日常生活圏について

〔問3-(1~4)〕 町が取り組んでいる項目の重要度・満足度について

〔問4〕 町の暮らしの中で感じていることについて

〔問5~9〕 今後のまちづくりで特に力を入れて取り組むべきことについて

- ・問5 人づくり(子育て・教育・歴史や文化)
- ・問6 元気で安心な暮らし(健康・福祉・安全安心)
- ・問7 活力ある産業(農林業・商工業・観光)
- ・問8 生活環境の整備(衛生・居住環境・交通網)
- ・問9 連携のまち(地域づくり・協働のまち)

〔問10〕 今後の町の将来像としてふさわしいものについて

〔問11〕 暮らしの現状と考え方について

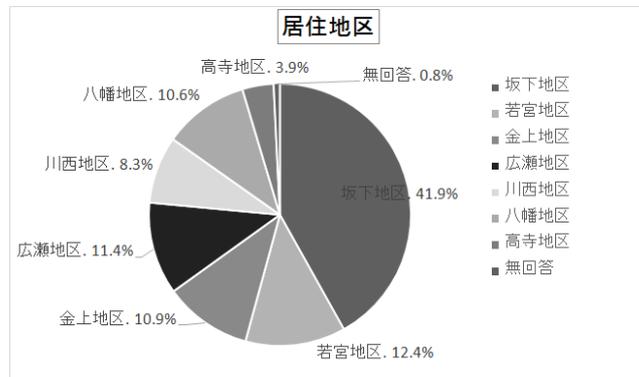
〔問12〕 町の将来について(自由記述)

3. アンケート調査結果

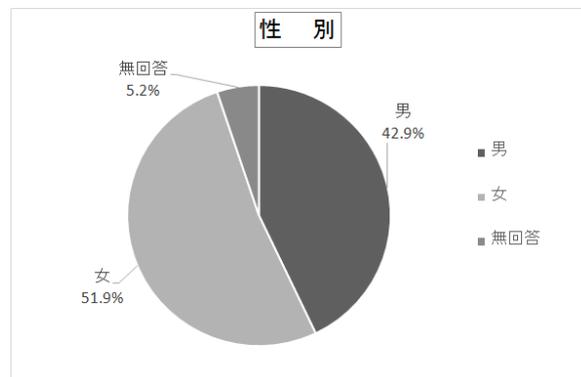
回答者の属性について問う

〔問1〕自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号1つを選んで、○印をつけてください。

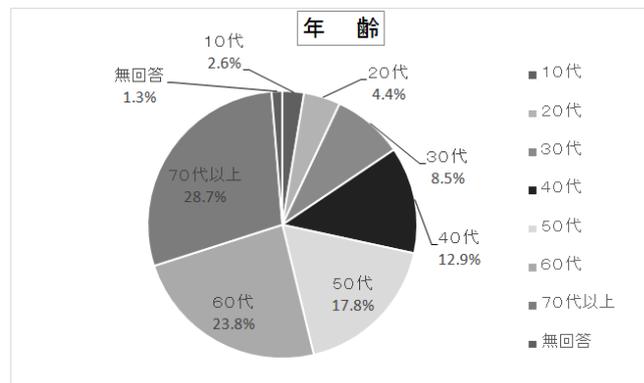
(1) 居住地区



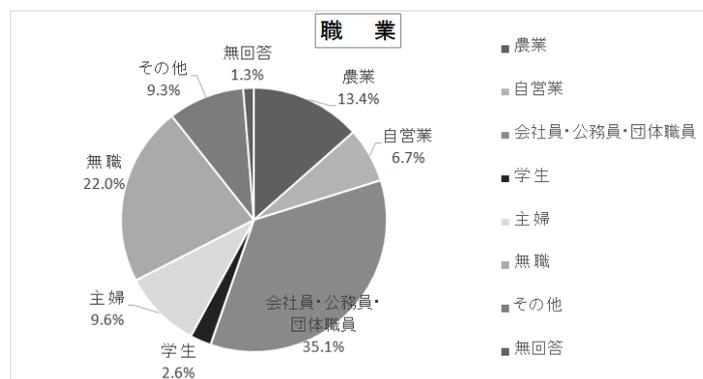
(2) 性別



(3) 年齢



(4) 職業



日常生活圏について問う

〔問2〕あなたの日常生活圏の中で最もかかわりの多いところはどこですか。それぞれの項目ごとに番号を1つ選んで、○印をつけてください。

<全地区>

日常の場面	会津坂下町	会津若松市	喜多方市	その他	該当なし	無回答
通学先・通勤先	123	68	17	32	89	58
食料品や日用品の買物	337	19	4	6		21
衣服や靴等の買物	141	150	6	61		29
家電製品や家具等の買物	25	292	5	25		40
映画・音楽などの娯楽	15	61	2	240		69
スポーツ・レクリエーション	101	72	4	139		71
病院や診療所	239	114	6	8		20

【回答結果】

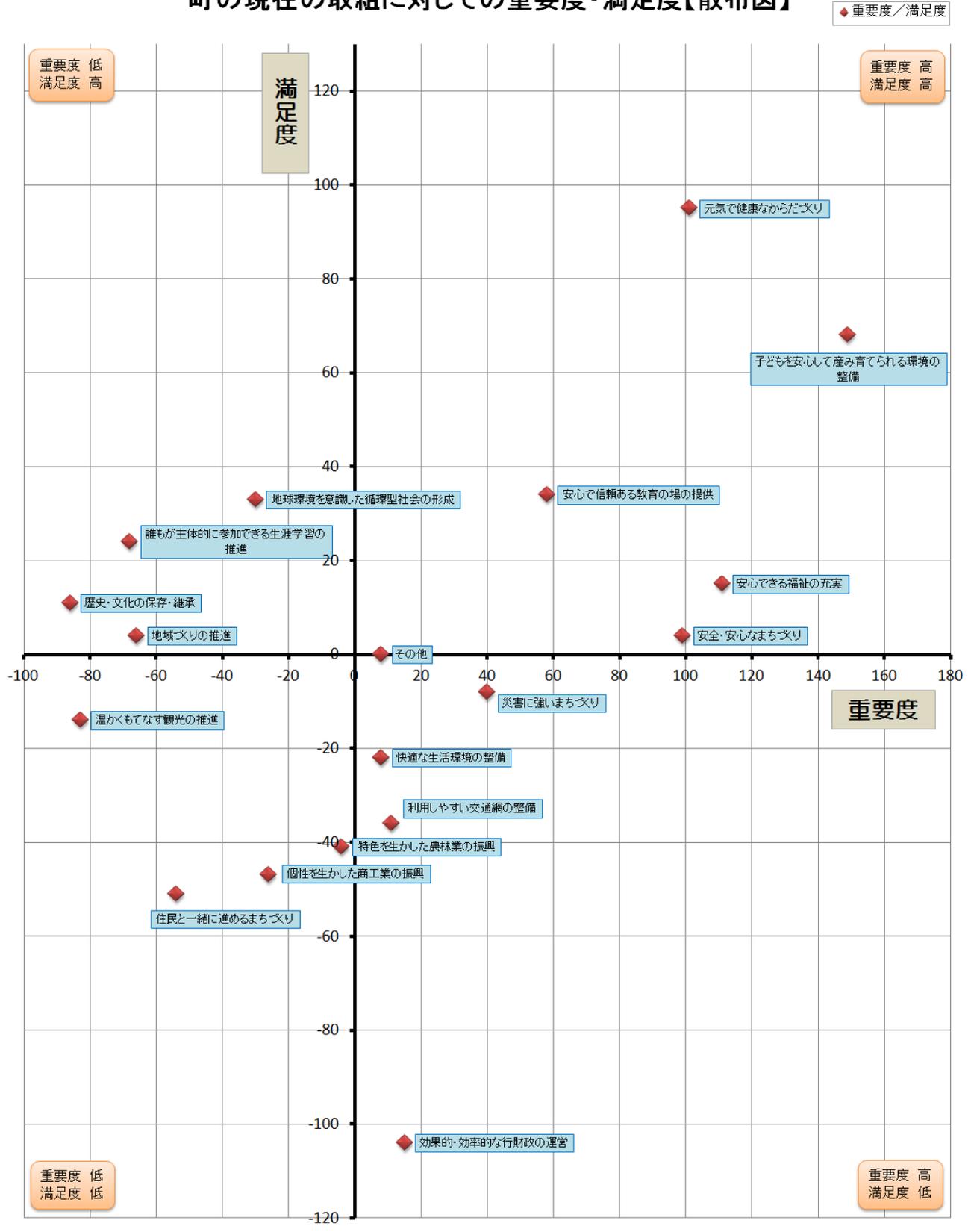
通学先・勤務先、食料品や日用品の買物、病院や診療所については町内で用事を済ませる方が多い一方、衣類や家電製品、家具等の購入の際は会津若松市へ、また、映画などの娯楽やスポーツ・レクリエーションは会津以外に出掛ける方が多い、という結果となりました。

現在、町が取り組んでいる項目についての重要度と満足度について問う

〔問3〕重要度・満足度が高い順(低い順)に3つ選んで、番号を記入してください。

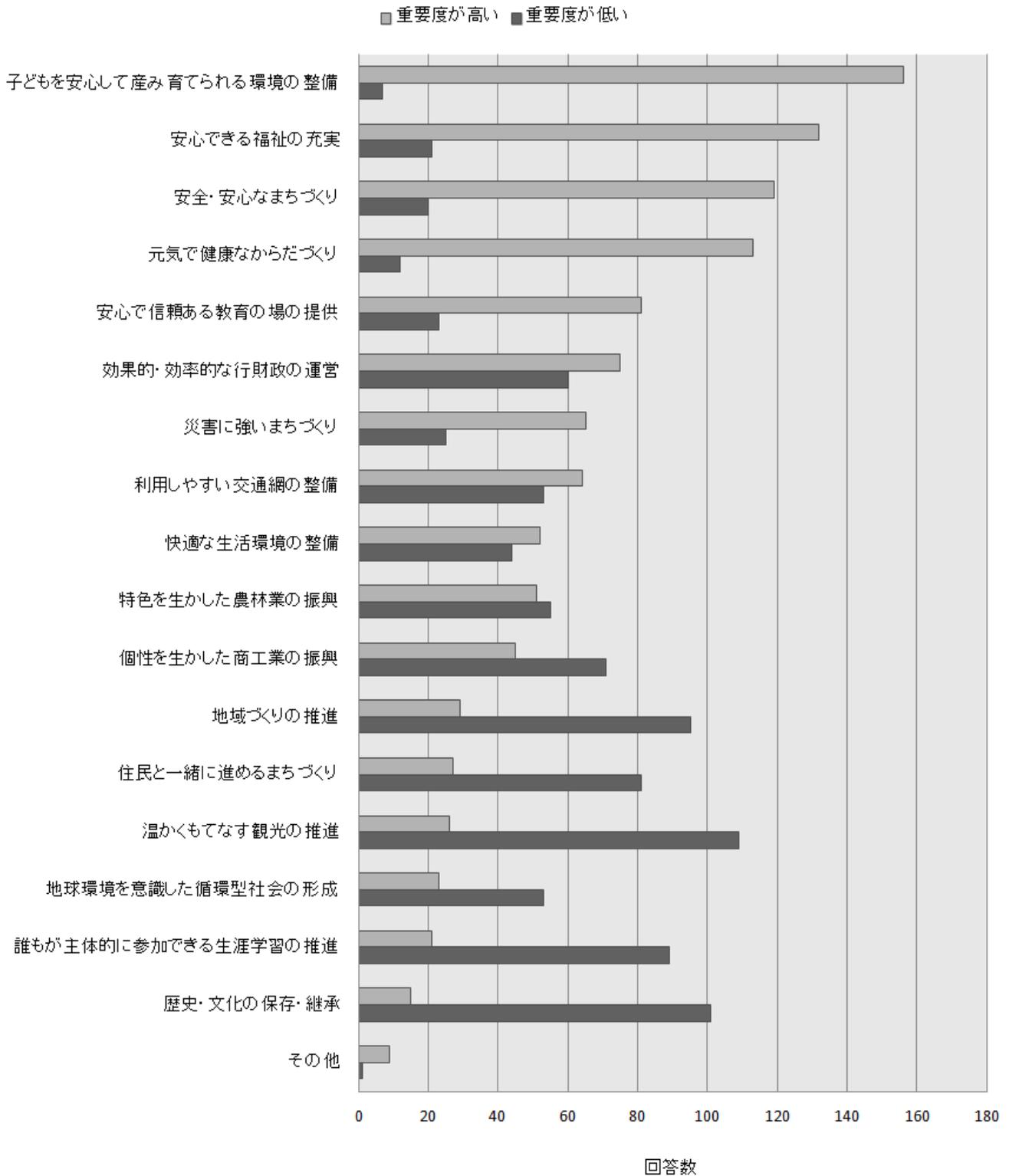
※重要度・満足度、それぞれの回答結果から、その関連性を散布図にて表示しました。

町の現在の取組に対しての重要度・満足度【散布図】



[問3-(1)(2)]重要度が高い順(低い順)に3つ選んで、番号を記入してください。

町の現在の取組に対しての重要度



《問3－(1) 各年代別順位》

数字は年代ごとの順位

は上位3位

総合	項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70～
1	子どもを安心して産み育てられる環境の整備	4	1	1	1	1	2	2
2	安心できる福祉の充実	1	5	5	4	3	1	1
3	安全・安心なまちづくり	4	2	5	2	2	3	4
4	元気で健康なからだづくり	3	4	3	4	4	1	3
5	安心して信頼ある教育の場の提供	2	3	2	1	9	7	9

【回答結果】

7頁のグラフは、「重要度が高い」と回答があった順に並べ替え、さらに「重要度が低い」との回答内容を加えたものです。

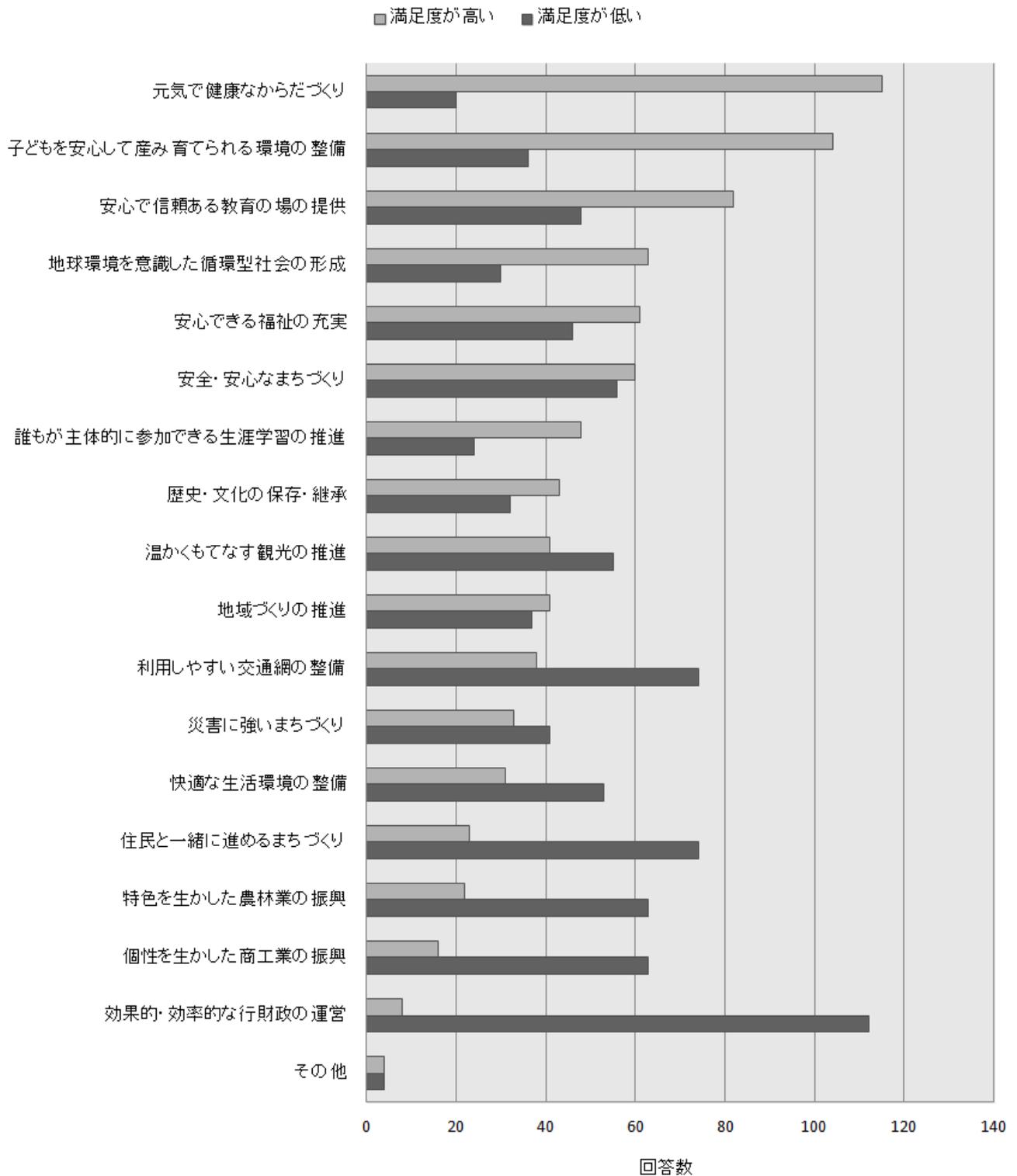
重要度が高い項目としては「子どもを安心して産み育てられる環境の整備」が最も高く、「安心できる福祉の充実」、「安全・安心なまちづくり」が続いています。

8頁の表は、「重要度が高い」に対する回答について、年代別に表示したものです。

20代から50代まで「子どもを安心して産み育てられる環境の整備」の重要度が高く、10代、60代、70代～については、「安心できる福祉の充実」に注目していることが分かります。

[問3-(3)(4)]満足度が高い順(低い順)に3つ選んで、番号を記入してください。

町の現在の取組に対する満足度



《問3－(3) 各年代別順位》

数字は年代ごとの順位

は上位3位

総合	項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70～
1	元気で健康なからだづくり	1	1	2	2	1	1	1
2	子どもを安心して産み育てられる環境の整備	4	2	1	1	1	2	4
3	安心して信頼ある教育の場の提供	3	3	3	2	2	3	5
4	地球環境を意識した循環型社会の形成	なし	3	7	6	3	4	3
5	安全・安心なまちづくり	5	1	4	5	5	5	4

【回答結果】

9頁のグラフは、「満足度が高い」と回答があった順に並べ替え、さらに「満足度が低い」との回答内容を加えたものです。

満足度が高い項目としては「元気で健康なからだづくり」が最も高く、「子どもを安心して産み育てられる環境の整備」、「安心して信頼ある教育の場の提供」が続いています。

10頁の表は、「満足度が高い」に対する回答について、年代別に表示したものです。

10～20代、50代～は「元気で健康なからだづくり」の満足度が高く、30～50代においては「子どもを安心して産み育てられる環境の整備」の重要度が高いようです。

町の暮らしの中で感じていることについて問う

〔問4〕あなたは、次の項目について、普段、どのように感じていますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで、その番号に○印をつけてください。

	暮らしの中で感じていること		数字は各年代ごとの順位							上位	下位
	全地区	項目	総合	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70～	
↑ 高・多 暮らしの中で感じていること ↓ 低・少	11	検診や予防接種の体制が整っている	1	11	2	1	2	1	1	2	
	16	犯罪が少なく安心して暮らせている	2	3	1	5	1	2	2	5	
	24	ゴミの分別やリサイクルなどが守られている	3	11	7	12	3	3	3	1	
	17	交通安全が保たれている	4	5	3	5	4	8	4	4	
	33	隣近所とのつきあいがある	5	2	9	2	10	5	5	3	
	5	子どもたちが生き生きとした学校生活を送っている	6	5	18	2	5	4	7	7	
	1	子育てしやすい環境が整っている	7	21	6	5	7	7	6	13	
	28	幹線道路が整備されている	7	29	4	4	6	6	8	10	
	45	総合的に見て暮らしやすい町だと思う	9	26	12	20	16	9	11	10	
	2	子育てに関して相談できるところがある	10	37	14	11	18	18	10	9	
	44	町に住み続けたいと思える	10	38	18	19	22	11	9	8	
	37	人々が集まり活動できる場所がある	12	5	18	12	8	12	18	10	
	36	地域の中で住民が交流する機会がある	13	5	11	9	13	14	15	18	
	18	地域に安心できる防災のしくみがある	14	26	12	23	13	20	13	16	
	38	行政区(自治会・集落)活動が活発である	15	16	24	17	16	14	14	21	
	12	急病の時などに医療機関に行きやすい	16	29	28	38	30	19	12	6	
	10	みんなが心身ともに健康に暮らせている	17	16	16	9	23	20	16	20	
	34	地域の中にお互いを支え合うしくみがある	18	11	22	20	25	17	17	18	
	29	住宅周辺の生活道路が整備されている	19	26	22	5	18	10	23	25	
	3	子育てしながら安心して働くことができる	20	29	32	25	12	14	24	15	
	4	子ども同士・親同士・世代間交流がある	21	1	14	15	8	12	20	37	
	32	みんなが町に愛着を持っている	21	21	16	22	21	30	21	16	
	6	学校と地域との間で交流がある	23	3	28	18	11	26	19	25	
	21	町で作られた農産・物産品が広く販売されている	24	5	4	29	28	20	24	27	
	40	地区(坂下・若宮など7地区)活動が活発である	25	29	27	15	20	26	22	30	
	26	上水道・下水道の整備が進んでいる	26	16	7	12	24	24	37	28	
	8	気軽にスポーツに親しむことができる	27	35	28	32	30	29	27	14	
	25	不法投棄やポイ捨てが少ない	28	29	9	27	13	23	31	36	
	27	広場や公園、子どもの遊び場が整備されている	29	16	18	27	28	24	28	33	
	39	行政区(自治会・集落)活動の担い手がいる	30	16	24	35	33	30	32	23	
	9	歴史・伝統・文化が受け継がれ、活用されている	31	5	28	24	26	30	34	33	
41	地区(坂下・若宮など7地区)活動に参加しやすい	32	21	39	29	27	33	26	29		
7	みんなが自ら学ぶための環境が整備されている	32	21	36	26	34	28	28	30		
42	同じ目的を持った人々が集まり活躍している	34	29	41	32	30	33	28	30		
43	必要な情報がわかりやすく伝わっている	35	38	32	35	36	35	32	23		
35	地域の資源(モノ・ヒト)を活かした活動がある	36	14	32	35	35	36	35	38		
14	介護予防や高齢者支援の環境が整っている	37	35	24	34	37	38	35	35		
15	ボランティア活動が活発である	38	14	39	29	38	38	39	39		
31	生活・通学の足として路線バスを利用しやすい	39	43	44	42	43	37	38	22		
13	みんなが老後の不安なく暮らせている	40	41	35	43	40	44	40	41		
23	歴史・物産・食などを通じ観光交流が拡大している	41	42	36	39	39	40	43	42		
19	町民の働く場がある	42	38	36	41	41	42	41	43		
20	農業の担い手がいる	43	21	43	40	42	41	44	44		
30	生活・通学の足として鉄道を利用しやすい	44	45	45	45	45	43	42	40		
22	誘客力のある商店など街なかに賑わいが見られる	45	44	41	44	44	45	45	45		
	総平均		2,857								

【回答結果】

各設問に対し下記の中から最も近い考えを選んでいただくもので、どのように感じている傾向が強いのかを結果をランキング形式で表示しました。各年代の結果も確認することができます。

- 1・・・そう思う
- 2・・・どちらかといえばそう思う
- 3・・・どちらともいえない
- 4・・・どちらかといえばそう思わない
- 5・・・そう思わない

上位の項目を見てみると、「健診や予防接種の体制が整っている」、「犯罪が少なく安心して暮らせている」、「ゴミの分別やリサイクルなどが守られている」「交通安全が保たれている」など、住民の健康を維持すること、健全な日常生活を過ごすことができていることが結果として表れているようです。

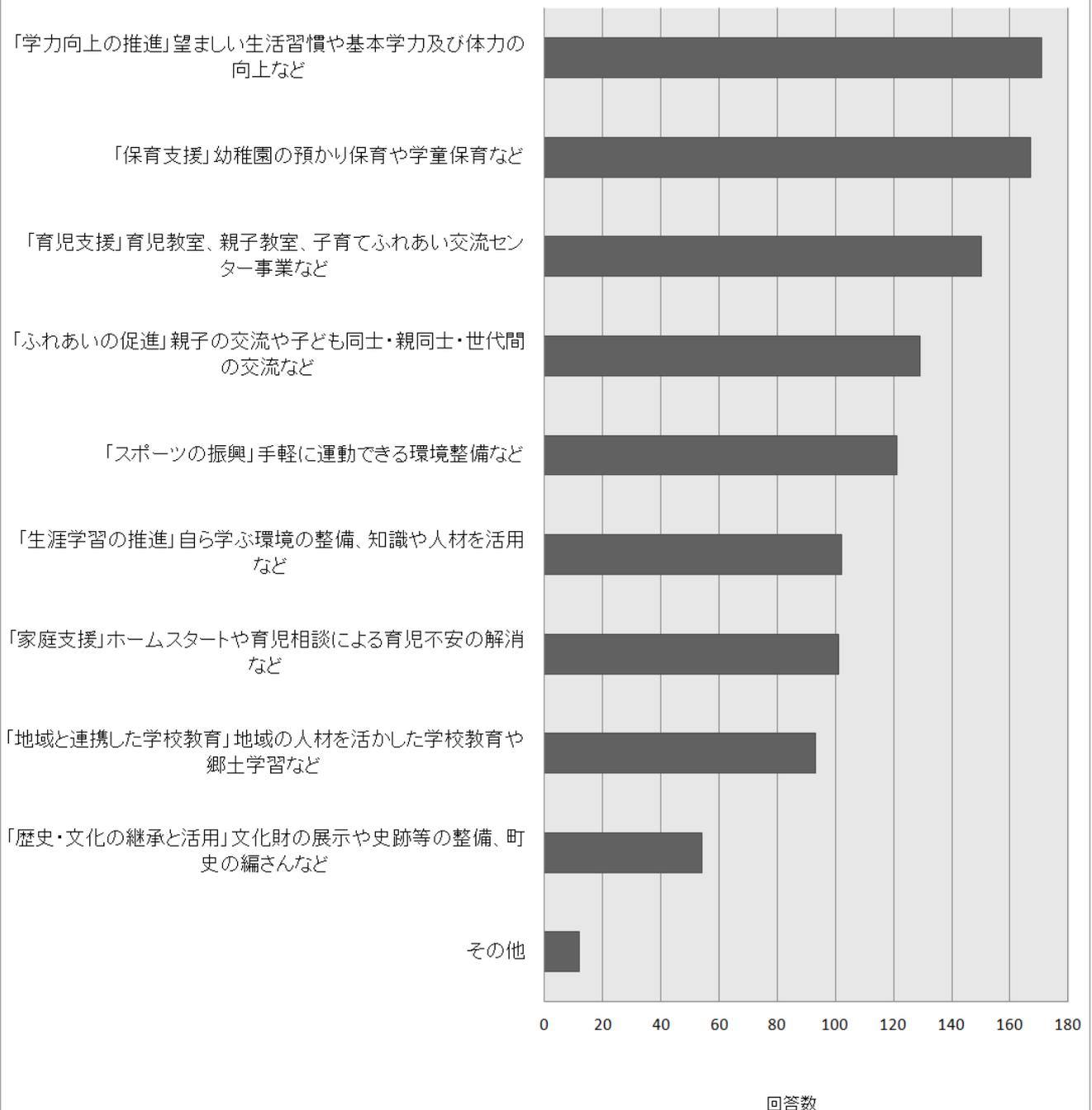
しかし、「町民の働く場所がある」、「農業の担い手がいる」、「誘客力のある商店など街なかに賑わいが見られる」などが下位となっていることから、安定した所得を得るための働き口がない、農業の担い手不足、街なかに賑わいがない、といった意見も多くあるようです。

各年代、暮らしの中で感じていることは様々です。それぞれの思いを尊重しながら、今後の町政運営に繋げる必要があります。

今後のまちづくりについて分野別に問う

〔問5〕「人づくり」(子育て・教育・歴史や文化)の分野で、特に力を入れて取り組むべきと思うものから3つ選んで、その番号を記入してください。

人づくりの分野で特に力を入れて取り組むべきもの



《問5 各年代別順位》

数字は年代ごとの順位

は上位3位

総合	項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70～
1	「学力向上の推進」望ましい生活習慣や基礎学力及び体力の向上など	4	2	2	1	2	1	3
2	「保育支援」幼稚園の預かり保育や学童保育など	3	2	1	2	1	2	5
3	「育児支援」育児教室、親子教室、子育てふれあい交流センター事業など	2	1	3	3	4	4	1
4	「ふれあいの促進」親子の交流や子ども同士・親同士・世代間の交流など	2	4	6	5	5	6	2
5	「スポーツの振興」手軽に運動できる環境整備など	1	3	4	5	3	3	6

【回答結果】

今後のまちづくりについて、分野別に、どのようなことが求められているかについての調査結果になります。

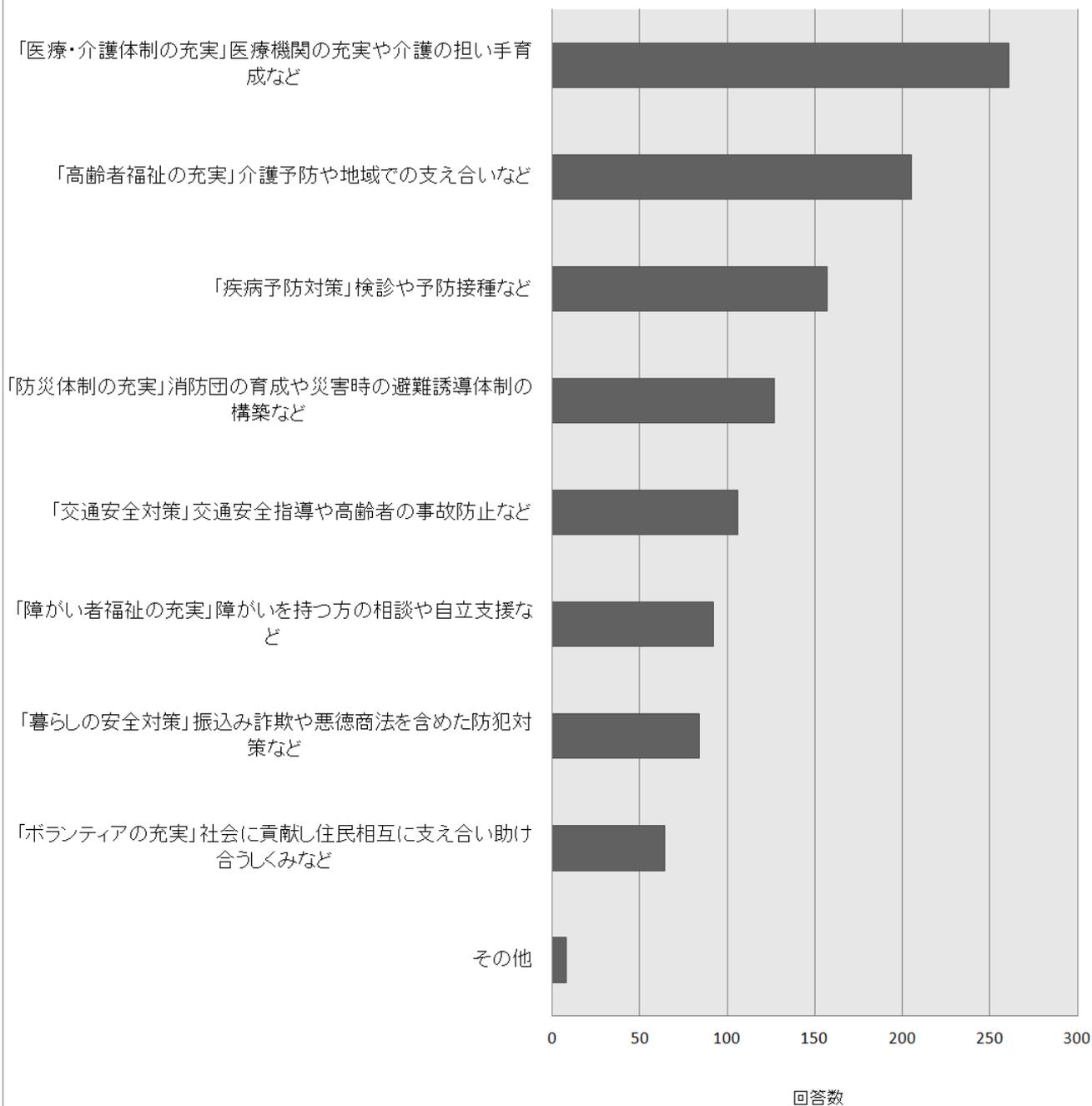
「人づくり」分野では、下記の項目について重要度が高いという結果となりました。

- ①「学力向上の推進」望ましい生活習慣や基礎学力及び体力の向上など
- ②「保育支援」幼稚園の預かり保育や学童保育など
- ③「育児支援」育児教室、親子教室、子育てふれあい交流センター事業など

特に子育てや教育に関する部分について、引き続き力を入れて取り組むべきという回答結果が出ました。子どもの健やかな成長や学力向上の支援はもちろんですが、保護者の就労支援のための取り組みも求められているようです。人づくりには世代を越えた交流が望ましいという意見もあり、今後も引き続き、豊かな人づくりのための取り組みが求められています。

〔問6〕「元気で安心なくらし」(健康・福祉・安全安心)の分野で、特に力を入れて取り組むべきと思うものから3つ選んで、その番号を記入してください。

元気で安心なくらし分野で特に力を入れて取り組むべきもの



《問6 各年代別順位》

数字は年代ごとの順位

は上位3位

総合	項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70～
1	「医療・介護体制の充実」医療機関の充実や介護の担い手育成など	2	1	1	1	1	1	1
2	「高齢者福祉の充実」介護予防や地域での支え合いなど	2	3	3	2	2	2	2
3	「疾病予防対策」検診や予防接種など	1	2	2	3	4	3	4
4	「防災体制の充実」消防団の育成や災害時の避難誘導體制の構築など	4	4	4	7	3	4	3
5	「交通安全対策」交通安全指導や高齢者の事故防止など	3	3	6	4	5	7	3

【回答結果】

「元気で安心なくらし」分野では、下記の項目について重要度が高いという結果となりました。

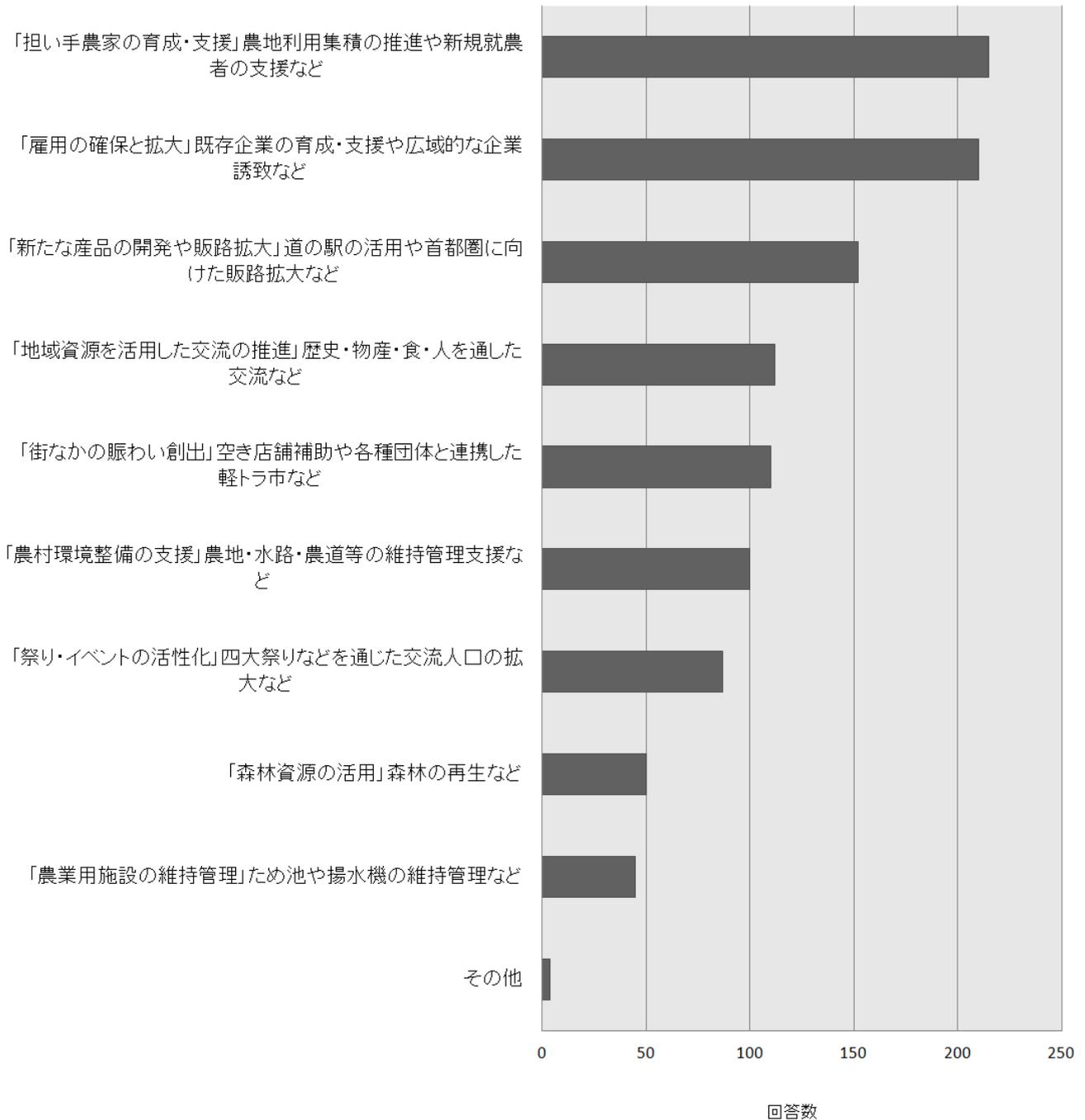
- ①「医療・介護体制の充実」医療機関の充実や介護の担い手育成など
- ②「高齢者福祉の充実」介護予防や地域での支え合いなど
- ③「疾病予防対策」検診や予防接種など

『「医療・介護体制の充実」医療機関の充実や介護の担い手育成など』については、20代以降、全ての年代で1位となり、住民が重要視していることが分かります。

少子高齢化が進む現代社会において、元気で安心な暮らしを実現するために必要不可欠な項目が上位にきているようです。

〔問7〕「活力ある産業」(農林業・商工業・観光)の分野で、特に力を入れて取り組むべきと思うものから3つ選んで、その番号を記入してください。

活力ある産業の分野で特に力を入れて取り組むべきもの



《問7 各年代別順位》

数字は年代ごとの順位

は上位3位

総合	項 目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70～
1	「担い手農家の育成・支援」農地利用集積の推進や新規就農者の支援など	4	2	1	2	1	3	1
2	「雇用の確保と拡大」既存企業の育成・支援や広域的な企業誘致など	5	1	2	1	2	1	2
3	「新たな製品の開発や販路拡大」道の駅の活用や首都圏に向けた販路拡大など	5	2	5	2	3	2	3
4	「地域資源を活用した交流の推進」歴史・物産・食・人を通じた交流など	2	6	5	6	4	4	5
5	「街なかの賑わい創出」空き店舗補助や各種団体と連携した軽トラ市など	3	5	6	3	5	5	4

【回答結果】

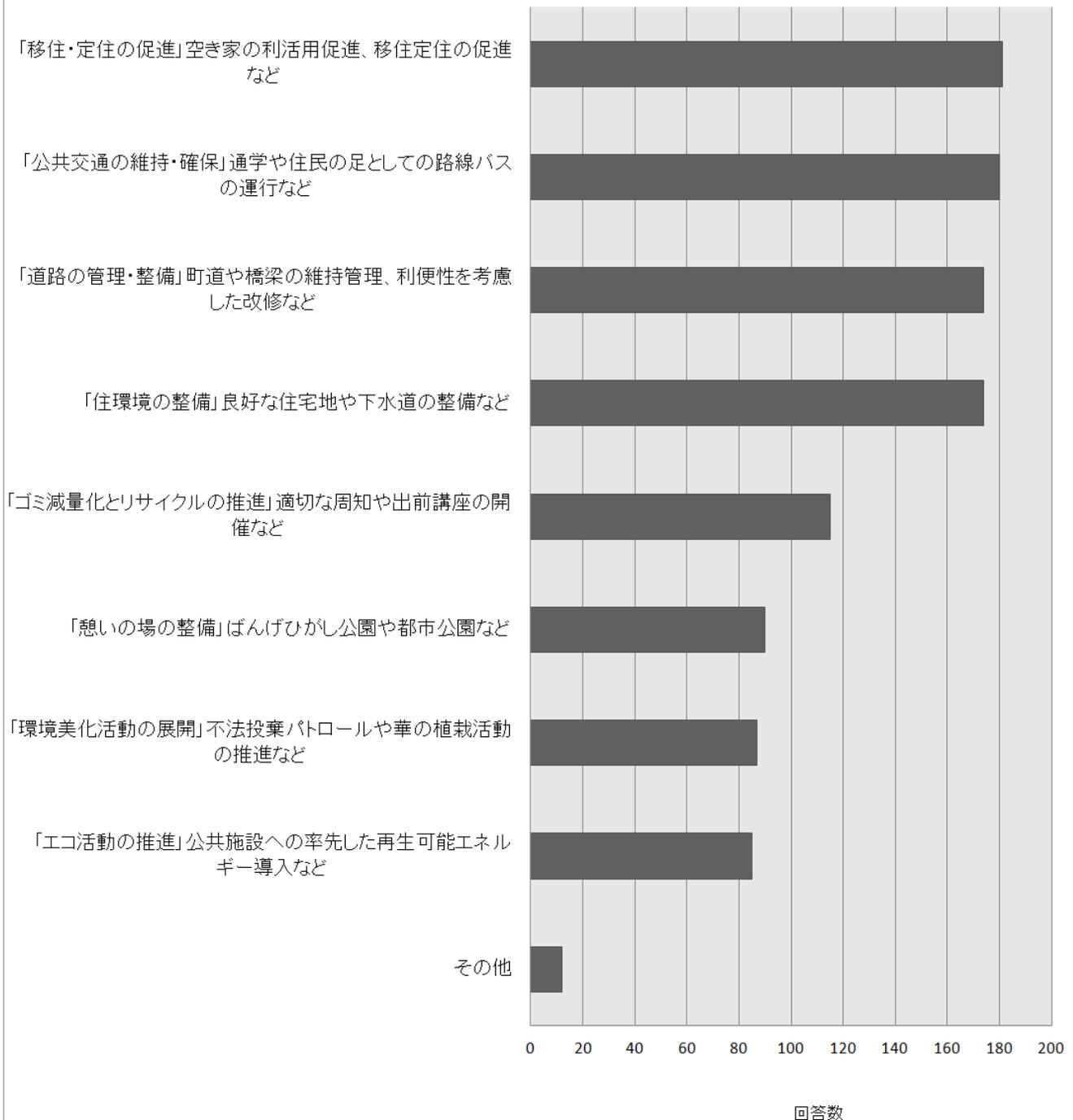
「活力ある産業」分野では、下記の項目について重要度が高いという結果となりました。

- ①「担い手農家の育成・支援」農地利用集積の推進や新規就農者の支援など
- ②「雇用の確保と拡大」既存企業の育成・支援や広域的な企業誘致など
- ③「新たな製品の開発や販路拡大」道の駅の活用や首都圏に向けた販路拡大など

本町の基幹産業である農業の担い手不足を解消するための取り組み、また、既存企業の育成支援や企業誘致など、雇用機会の確保に向けた取り組みのさらなる充実が求められています。

〔問8〕「生活環境の整備」(衛生・居住環境・交通網)の分野で、特に力を入れて取り組むべきと思うものから3つ選んで、その番号を記入してください。

生活環境の整備の分野で特に力を入れて取り組むべきもの



《問8 各年代別順位》

数字は年代ごとの順位

は上位3位

総合	項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70～
1	「移住・定住の促進」空き家の利活用促進、移住・定住の促進など	3	2	4	4	4	1	1
2	「公共交通の維持・確保」通学や住民の足としての路線バスの運行など	1	4	3	1	3	4	2
3	「道路の管理・整備」町道や橋梁の維持管理、利便性を考慮した改修など	4	1	1	2	2	3	4
4	「住環境の整備」良好な住宅地や下水道の整備など	5	3	2	3	1	2	2
5	「ゴミ減量化とリサイクルの推進」適切な周知や出前講座の開催など	6	5	6	6	5	5	3

【回答結果】

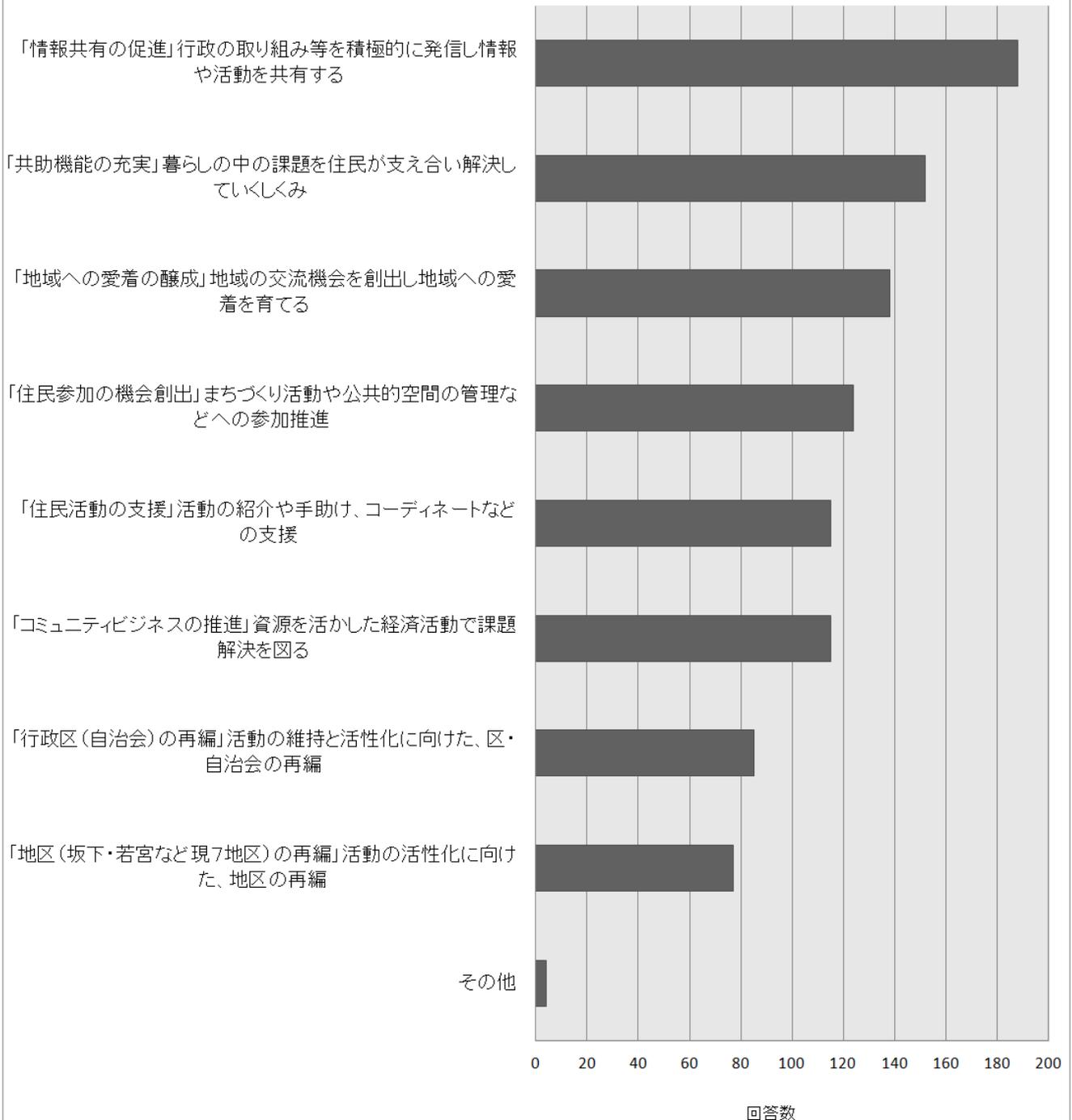
「生活環境の整備」分野では、下記の項目について、重要度が高いという結果となりました。

- ①「移住・定住の促進」空き家の利活用促進、移住・定住の促進など
- ②「公共交通の維持・確保」通学や住民の足としての路線バスの運行など
- ③「道路の管理・整備」町道や橋梁の維持管理、利便性を考慮した改修など

普段の生活を維持するため、より良い環境で生活するために必要なことが求められています。また、空き家の利活用促進などを含め、優良な住環境の整備から移住・定住を促進する取り組みも求められています。

〔問9〕「連携のまち」(地域づくり・協働のまち)の分野で、特に力を入れて取り組むべきと思うものから3つ選んで、その番号を記入してください。

連携のまちの分野で特に力を入れて取り組むべきもの



《問9 各年代別順位》

数字は年代ごとの順位

は上位3位

総合	項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70～
1	「情報共有の促進」行政の取り組み等を積極的に発信し情報や課題を共有する	2	1	1	1	1	1	1
2	「共助機能の充実」暮らしの中の課題を住民が支え合い解決していくしくみ	4	2	3	2	2	2	2
3	「地域への愛着の醸成」地域の交流機会を創出し地域への愛着を育てる	1	4	2	5	6	2	2
4	「住民参加の機会創出」まちづくり活動や公共的空間の管理などへの参加推進	3	3	4	6	4	3	3
5	「住民活動の支援」活動の紹介や手助け、コーディネートなどの支援	3	1	2	3	3	6	5

【回答結果】

「連携のまち」の分野では、下記の項目について、重要度が高いという結果となりました。

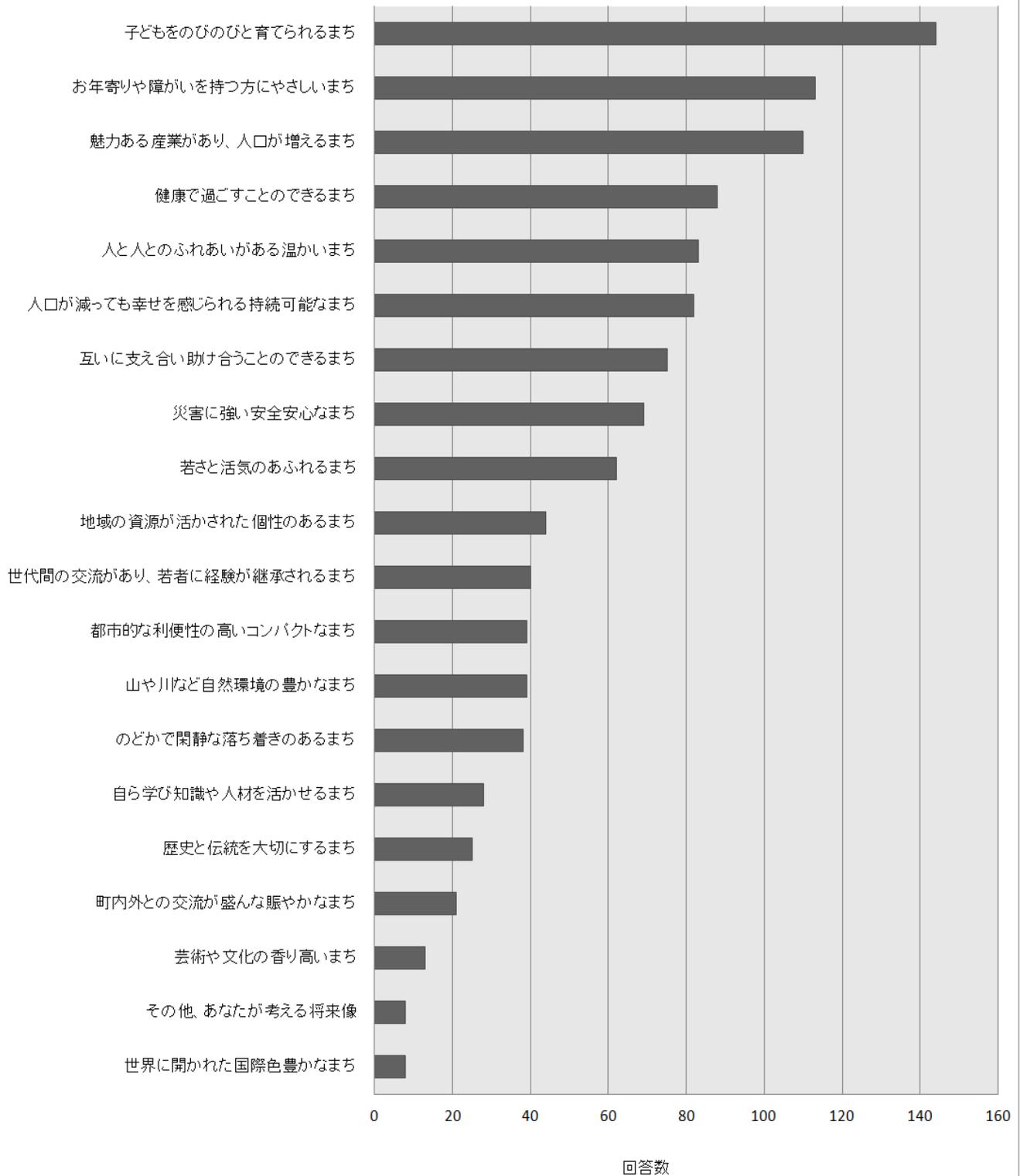
- ①「情報共有の促進」行政の取り組み等を積極的に発信し情報や課題を共有する
- ②「共助機能の充実」暮らしの中の課題を住民が支え合い解決していくしくみ
- ③「地域への愛着の醸成」地域の交流機会を創出し地域への愛着を育てる

『地域づくり』と密接に関係する分野であり、「情報・課題を共有したい」、「住民どうして助け合うしくみが欲しい」、「地域への愛着を育てたい」、「住民参加による地域活動を創出したい」、「住民活動を支援して欲しい」という意見が多く寄せられました。

今後の町の将来像について問う

〔問10〕10年後を見据えた町の将来像としてふさわしいと思うものから順に3つ選んで、その番号を記入してください。

今後の町の将来像について



《問10 各年代別順位》

数字は年代ごとの順位

は上位3位

総合	項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70～
1	子どもをのびのびと育てられるまち	4	1	1	1	1	2	2
2	お年寄りや障がいを持つ方にやさしいまち	3	2	3	2	4	5	1
3	魅力ある産業があり、人口が増えるまち	4	3	2	3	3	1	3
4	健康で過ごすことのできるまち	3	5	7	5	2	3	5
5	人と人とのふれあいがある温かいまち	5	4	6	6	6	4	4

【回答結果】

町の将来像として、どのようなまちが求められているのか、回答結果をランキング形式にてとりまとめたものです。

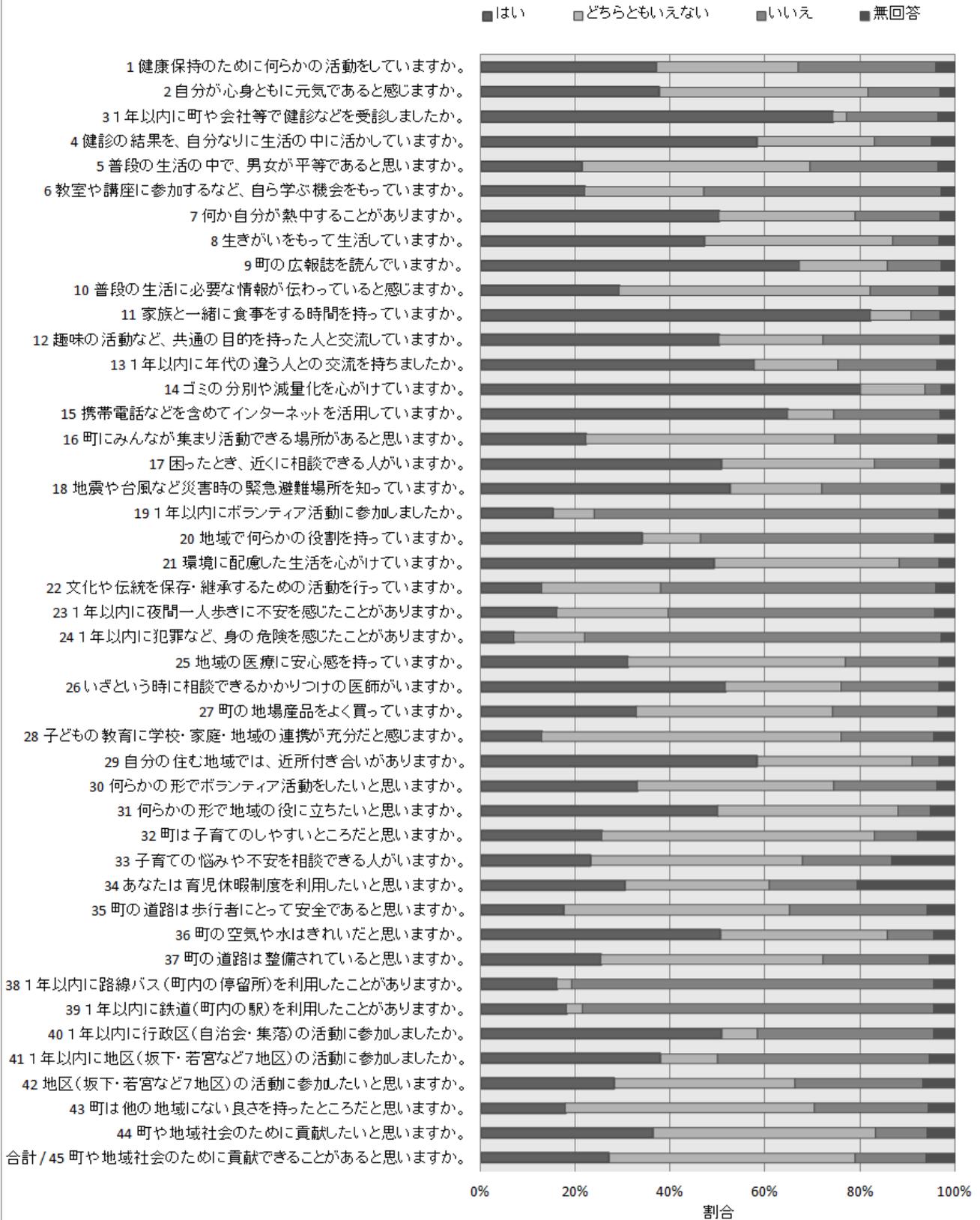
保育所、幼稚園、小学校、中学校と続く教育環境が整備されていることはもちろんですが、子どもたちにとってより良い環境づくりが整い、子どもたちがのびのびと成長できるまち。子どもたちからお年寄りまで人と人とのふれあいがあり、また、人を呼び込む魅力ある産業があり、温かさと活気に満ち溢れたまち。その中で、お互いがやさしさを持ち、健康的に過ごすことができるまち。

そのような町の将来像を描く回答が多いようです。

暮らしの現状と考え方について問う

[問11]あなたの暮らしの現状と考え方についてあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

暮らしの現状と考え方について



【回答結果】

暮らしの現状と考え方をお聞きする各設問に対し、下記の中から近い考えを選んでいただくものです。回答結果は、どの回答が多いのか、割合にて表示しています。

- 1・・・はい
- 2・・・どちらともいえない
- 3・・・いいえ

「家族との時間を持っている」、「共通の目的をもった人との交流している」、「地域の中で近所付き合いがある」、「年代の違う人との交流がある」など、人と人とのつながりを大切にしている傾向にあり、「何らかの形で地域に役立ちたい」、「行政区の活動に参加した」など、自分自身の住む地域に対する貢献をしたい、と考えている方、また、実際に実践されている方も多くいるようです。

一方、「普段の生活に必要な情報が伝わっている」、「みんなが集まり活動できる場所がある」などの項目については不足しているという回答が多くなっています。住民がどのように考えているかをよく把握し、今後の施策等にも反映させていくことが必要です。

町の将来への夢について問う

町の将来について、夢やアイデアなどのご提言がありましたら、お聞かせください。(自由記述)

No.	居住地区	性別	年齢	職業	自由記述
3	坂下地区	女	50代	会社員・公務員・団体職員	現在廃校になっている小学校の校舎を使って、何か事業(あるいは会社等に貸すなど)して積極的に何かを行うことはできないのでしょうか? 他の市町村では廃校した学校の校舎を事業者(や会社)に貸しているところもあります。
10	坂下地区	男	50代	会社員・公務員・団体職員	街は財政再建を計画的にする事はもちろん事業に対して的確に費用対効果と必要な住民サービスを行う事をする新たなチャレンジで税収益のある事業を行って下さい。
20	八幡地区	女	50代	その他	◎南小学校のみんなのバス停への通路を町駐車場の内でグリーンゾーンで表した方が安全だと思ふ。現状では交差する力所が多くてあふない。◎スーパーや大型駐車場に子連れ優先の駐車スペースを設けて欲しい、以前文教委員から議会の議題に出していますが、マークのみ情報提示しただけで何の進展もないのはどうしてですか!! 小学生以下の子連れの行動は大変なんで子育て日本一をめざして下さい。
41	八幡地区	男	30代	自営業	役場庁舎建設の即時延期及び町関係施設(図書館、中央、体育館)などを併せ持った総合複合施設への計画再編及び防災維持機能向上、住民の地域総合施設としての役割を持った施設整備。電力施設(原子力・火力)の誘致での雇用創出、付帯して産業廃棄物処理施設の誘致も。現状維持による町の体力温存。
46	坂下地区	女	70代以上	自営業	○企業の誘致に力を入れて、若い人町に残りたいと思うようになればいい。○旧街の整備。年に何回か歩行者天国などを行い活気づけてもらいたい。○そば会。10年も同じ事をしていないで商店を活用しそば券を発行一週間くらい町のそば祭りを行うとよいと思います。
51	若宮地区	男	30代	その他	・自然エネルギーによる電力供給やIoTを活用した教育など、先進的な取り組みに欠けるため、これらの充実を図っていくことが求められるのではないかと。「よい町」づくりのためには、子育てしやすい環境づくりが必要と考える。費用面でのサポートの充実、公園の整備、施設の新設(温水プールなど)をお願いしたい。
54	坂下地区	女	50代	会社員・公務員・団体職員	坂下産こひかりは絶品です。長野農家の姉夫婦たちが絶賛してます。ぜひアピールを。○351について、安べえ通りやR49などの歩道に割れや、もり上がりがあり、危険と感じます。○高齢者の自転車マナーがとても悪いと思います。(急な横断、雪道を乗るなど)呼びかけや、時には取り締まりさえ行い、毎年のように起きる横断中の事故を防いで下さい。
58	坂下地区	男	70代以上	無職	町の特長と町の目指す将来像をスローガン化して町内外に発信すると共に町民と共有する体制をつくる努力が必要と思われます。
73	坂下地区	女	60代	主婦	町民体育館が利用できなくなりますが、今後は多目的に利用できる施設を建てて欲しいと思います。学校の体育館を利用するにも不便さを感じることもあります。いつでも気軽に利用できる体育館を考えて欲しいです。
76	坂下地区	男	40代	自営業	小中学校の統合により行政区がおかしくなっている感が否めません。旧坂下地区のみの秋祭りなど間違いない不平不満が続出してませんか? 行政指導では無理があるかもしれませんが、旧坂下地区の再編、そして、町全域を巻き込んで、大人も子供も祭りに参加できる仕組みを作り上げるべきかと。そこから、地域コミュニティの拡充が期待されると確信しております。
91	若宮地区	女	70代以上	その他	町の財政は大変な状態にあります。町会議員は地区の区長さんには、議会のある時だけの報酬とし、又職員(町)の教(人数)も人口の割に多すぎると感じています。役場も新築するのではなく、各学校の空いている所を利用し、未来の子供達に夢を持ってよう努力していただきたいと思っています。
92	八幡地区	無回答	70代以上	その他	同一活動が多いので、一本化してほしい。施設の活用についても考えるべきだ。町も町民も一体化
95	坂下地区	女	50代	自営業	人口減少は大きな問題。町内にある公園、温泉等の施設を魅力あるものにできれば、町のイメージアップにつながるのでは。たとえば、本宮町の"水色公園"で水遊びしている子供達がよくTVIに使われている。坂下町の子育て事業、医療体制は充実しているのだから、まず、坂下町のイメージを楽しく子育てできる所がある。とすれば、少しずつこの町に目を向けてくれる若者も増えるかと。
96	金上地区	男	70代以上	無職	○町内の人口減少に伴い、若者、子どもに対する支援の充実と国際交流(ホームステイの強化)○結婚適齢期をむかえる子どもたちへの積極的支援と、そこに定着できる為の産業、文化の活性化○役場、学校等が主体となり、町民一人ひとりを大切にした人間関係の努力○施設(温泉等、みりょくある)のほりおこし。
104	坂下地区	女	30代	主婦	学童を3年生までではなく、6年生までにしてほしいです。土曜や、夏休み、など長期の休みの時だけでも預けられればとても助かります。祖父母も遠いので、頼れず、女の子の一人っ子なので一日一人で留守番は不安があります。(坂下も不審者情報メールで来たり、テレビで小学生の女の子が巻き込まれる事件も多いので)家のまわりも、共働きで不在の家がほとんどなので、何かあってもかけ込めような場所ありません。(新興住宅地の為)。若松市や喜多方などは6年生まで預けられるので、坂下も、希望者は土曜と長期の休みの時、預けられるようにして下さい。
123	金上地区	男	70代以上	農業	昔の坂下町の様に町内が活気のある若者が笑顔で働ける希望の持てる町に希望します。
134	坂下地区	女	20代	その他	スポーツサークルがある。スポーツを通じて交流がある。
137	坂下地区	女	60代	その他	子供は家族の又社会の宝であり、愛すべき存在です。誰かの所有物ではなく、一人一人の個性が尊重されるべきと思います。学校、家庭、社会、どこにおいても! 大切にされたら、まわりの人を大切に人間になると信じています。多様性への理解は、広がりつつある様に思いますが、"自分の好きなことを、好きなだけやっている"人に対しては寛大でないと感じます。
151	若宮地区	女	50代	その他	例えば、バスを利用するにしても、停留所まで、足腰の弱った高齢者が歩くのは大変だったりします。病院に行って、役場に書類を出してなど、歩くことを考えると、どれほど大変でしょうか。バスを通しての自動車がいない人も大丈夫、と考えるのではなく、町民1人ひとりが困っていること、希望することをしっかりと上げて、将来について考えてほしいと思います。
183	坂下地区	女	50代	自営業	2020年頃に坂下厚生病院が、移転すると聞いている。跡地を看護・理学療法士・介護士などの専門学校を誘致、開設して欲しい。他の地区から若い人が集まれば町が今よりは活性化し、地元で専門学校があれば親御さんたちの教育費の負担も少なくて済む。農業の専門学校があればなお良い。醸造の専門学校があれば言うことがない。
198	坂下地区	女	60代	主婦	観光資源が多い(お寺が近くいくつもある)のに活用されていない。このような資源を生かした観光ルート等を開発、提案して、外部から人を呼び込みたい!
200	若宮地区	女	70代以上	農業	年々子供達の減少と共に部落では高齢者が増加して家の中にとじこもる人が増えているように感じられる状況、部落にも憩いの場としての公民館がすぐ近くにあるのになかなか集まる機会がありません。これから高齢者の生きがいとして何かやってあげる事はないかと常々思いつつわが身の生きがいから一つでも、声かけられ、コミュニケーションのとれる日が来ればと考えさせられています。これからの人生、皆で声かけ生きがいのある一日が送られたらと願っています。何かいい知らせがありませんか。
205	川西地区	女	50代	会社員・公務員・団体職員	・町の人口を増やす為の対策が必要。例えば、工業団地の充実や自衛隊の誘致等。・橋梁の老朽化が目立つ! 早急に架け替え工事を行うべきだと思う。・除雪するオペレーターの教育が必要! 責任を持って除雪車を動かす、きれいに!! 若者世代の勤め先を確保して頂きたいです。坂下町は子育てし易いと周囲からは聞かされるが、朝・晩の通勤に毎日40~60分かけて通っている現状。子供や親と接する時間を多く持つ為。・町全体で"買い物難民"を老人が利用する為の移動販売車をルート化。

No.	居住地区	性別	年齢	職業	自由記述
214	金上地区	男	60代	農業	町には昔から薩摩(香みそ・しょうゆ)が盛んでありますので、多くの後継者(従業員)を育て、全国からわが町を訪れ、すこしでも人口定着をめざしては、いかがでしょうか。なお、高校再編の際も検討して見てはどうでしょうか。
222	広瀬地区	女	40代	会社員・公務員・団体職員	健康、教育のために、スポーツ関係の設備を充実させたら良いと思います。環境が良ければ町外の方も坂下町に来て発展できるかと思います。
237	金上地区	男	70代以上	無職	町の工場誘致を一刻も早くしてほしい。若い人達の意見をよく聞き、若い人が定住できるようにしてほしい。町の活性化につながると 생각합니다。
238	坂下地区	女	50代	主婦	ホームページ等で坂下の有名所をもっとアピールする。町中のちょっとした所、(石山食堂の冷たいラーメン等)も外部の人には受けがいいと聞いたことがあるので。道の駅や馬さし等もアピールしてよいかと思います。
242	八幡地区	女	50代	その他	もっと観光や娯楽的な物を誘致できれば良いかと思えます。例えば温泉施設にすべり台を付けるとか隣のスキー場を活用して何か人を呼ばれる観光的な物を作るとか、とにかく人を呼ぶ物が必要ではと思います。
261	坂下地区	男	50代	自営業	・単純労働の外国人が増えて来ます。せめて英語版の地域の活動や約束・規則について詳細にわかるパンフレットを町内の人材の協力をいって作り出すべき。・外国人による(水資源)土地の取得について付いては注意するべき。間接的な取得も含め行政で把握出来る様にする。(固定資産税の開示で取得先がわかる)・ソーラーパネル発電所は景観を著しく損なうので条例で制限するべき。こんなに安心、安全な坂下町をより良い形で次世代に残したい。
265	坂下地区	男	70代以上	無職	①マスコミに対する広報課(係)の設置、強化。②観光資源の系列化と統一制、関連性の計画と実施。③古代古墳の歴史と実状の広報活動-観光客への-④恒久的な観光事業への対策と持続性のある計画と実行。を望む。⑤バイパスの大規模展示は車の通過点で見学する人が見当たらず来る新庁舎か、諏訪神社への移設は?⑥春日八郎の駅前立像と記念館を一体化し、生地塔守日五十嵐家の近隣へ。⑦中野竹子、斎藤清の墓地等を観光資源として、新庁舎に大看板内案図を作成する、等
286	坂下地区	女	70代以上	主婦	急には無理かもしれませんが少しずつ良くなっていく様町に要望するだけでなく町民も協力すべきです。議会だよりは良くみえます。議員さん良いアイデアをたくさん出して坂下町の為がんばって下さい。
296	広瀬地区	男	40代	会社員・公務員・団体職員	会津坂下町の歴史、伝統を残しながら、新しいコンパクトシティを目指して欲しいです。情報化時代なので、田舎だと思わず、新しい良い情報をどんどん取り入れて、良い町づくりに期待します。
312	高寺地区	男	60代	無職	今後将来的に安心できる生活環境の整備。今までもこうだったからという考えをなくし、新たな活動の充実を計る。他の市町村の良い所をとり入れ、参考にすることも一つの考え方ではないか。
321	川西地区	男	40代	会社員・公務員・団体職員	さすがに役場は立て替えねばならないので、他の施設・建物の再編・複合化・廃止を進めて、行政コストを削減し、持続可能な行政基盤を確立して欲しい。
352	若宮地区	女	50代	会社員・公務員・団体職員	筋力やシムのような設備があるとよい。(あづま運動公園内施設を参考)誰でも利用できる時間帯9:00~21:00平日・土日祝、無料又は低料金(1回100円位まで希望)維持費や利用人数により検討する。トレーナーもいれば効果大で、いつでも利用できる為(特に冬場)健康づくりに有効だと思います。手軽に体育館内にあれば利用しやすい。近隣市町村の方の利用も可であれば運営しやすいのでは。(料金に差をつけて)
355	坂下地区	女	60代	主婦	①町のPRとパンフレットづくりが下手である。パンフレットの依頼の引き子なのに写っていないから、初めて見る人にとっては、どのような状況かわかってもらえない。会津若松駅にパンフレットがない。(観光案内所)1枚のパンフレットでは坂下町の良さを全部載せられない。7地区それぞれのイベントやお祭りを紹介してほしい。近隣の市や町のパンフレットを見て勉強してもっと写真も入れて作ってほしい。「道の駅あいつ」で流れているビデオも動画が少なすぎで、写真ばかり。観光客が訪れる町になってほしい。②坂下町には、美味しい酒蔵が3ヶ所あるので、坂下町の特産物と一緒にコラボしたイベントを開催すると、必ず他県外から多くの日本酒ファンを中心に町を訪れると思います。より活気のある町になると思います。関東の人だけではなく、関西の方からも人がきます。
371	若宮地区	男	70代以上	無職	健全財政運営のうえに各種の事業を展開し、その1つとして人口増を図る為の政策を樹立すること。住民若人世代の安心して生める施設が必要であると思えます。

上記のご意見は一部抜粋したのになります。他にも様々なご意見をいただいております。

4. 第六次会津坂下町振興計画策定に向けて

今回の住民満足度調査(まちづくりアンケート)におきまして、町の現状や今後の目指すべき将来像について、多くの住民の皆さんのご意見をいただくことができました。回答結果につきましては、今後のまちづくりや地域づくり、第六次会津坂下町振興計画の策定に生かしてまいります。

多くの住民の皆さんにご協力いただき、ありがとうございました。

